

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		10 02 14	中期総合計画主要施策番号		2-04、5-06		担当課	部・課	林務部 信州の木振興課	
事業名		県単林道事業(県単【林道】)				内線		3247		
						E-mail		ringyo@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	地域において生活道路や観光的な利用がなされ、一般者及び観光客の入込みが多い特定林道における通行の安全を図ることで、安定した山間地域の居住環境の整備等の地域振興に寄与する。								
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 特定林道の周辺は、地形が急峻で自然条件も厳しく、雪崩や落石等の危険箇所が多く存在し、安全な通行に支障を来している。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 気象や地形・地質等の自然条件が厳しい上に、開設から長期間が経過しており施設の老朽化等が見られる。また、路線延長が長く改良を必要とする箇所が多いため、市が実施する維持管理に多大な経費を要する。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 車両通行に影響を及ぼす恐れがある箇所の中で、市が行う改良工事の経費を支援し、一般車両等の通行の安全を確保する必要がある。								
		事業内容								
		市が実施する特定林道改良事業に対し補助する。(補助率:【県】6/10)								
	実施期間	S34 ~		根拠法令等	林道事業補助金交付要綱第1					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	林道の改良を行うことで通行の安全を確保する。(平成24年度までに改良割合を50%以上にする。)		平成20年度末の林道改良目標を38%とする。			平成20年度末の実績は37.8%(99%)であり順調に進んだ。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	10,800	10,800	10,800	国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円	103,337	10,800		実施方法 補助			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	103,337	10,800	10,800	歳出節別 内訳等			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.25	0.05	0.05	予算現額(最終予算額+繰越額等) 10,800 平均工事期間27年 (単位: 千円)			
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	105,122	11,157	11,157				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	該当2路線における整備済延長累計		m	1,215	1,272	1,329	整備率(延長)37.8% (1,272/3,365=0.378)			
	実施箇所数(路線数)		箇所	2	2	2				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	対象路線は開設から相当期間が経過しており、法面の崩壊や落石の危険箇所が数多く見受けられ、改良の必要性は依然として高い。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		事業予算の減少及び法面風化の進行等による事業単価の上昇により、改良延長の実績は減少傾向にあるため、コストの縮減を図りより効果の上がる改良事業ができるよう事業主体と協力して事業を実施する必要がある。							